

ごあいさつ

平素の当金庫への変わらぬご愛顧とご支援に、心より厚くお礼申し上げます。

日本経済は、緩和的な金融環境のもと、雇用・所得環境は改善し、全体としては緩やかな回復基調にある一方で、国際的な政治・経済情勢が景気の下押し圧力となり得るなど、不確実性の高い状況となっております。

また、当金庫の主要なお取引先である中小企業においては、原材料価格の高止まりや賃金水準の上昇等に加え、人口減少・少子高齢化を背景とした慢性的な人手不足、さらにはデジタル化の進展や気候変動問題への対応など、経営課題がますます多様化・複雑化している状況にあります。

このようななか、当金庫では中期経営計画「Shinking 2030セカンド」(2024年度～2026年度)において、重点事項として以下の3点に取り組むこととしております。

- お客さまとの接点を増やす:課題解決サポートに注力するため、金庫全体で業務の最適化を行い、お客さまとの接点を増やします
- お客さまにより良い提案を行えるようにする:職員の専門性を高め、多様化するお客さまのニーズにきめ細かく対応できるようにします
- 全職員が幸せにいきいきと働けるようにする:職員の成長と幸せの実現のため、やりがいを持って気持ちよく働ける風通しの良い組織にします

外部環境が急激に変化する状況下において、多様化・複雑化するお客さまのニーズや課題に当金庫がお応えしていくためには、表面的な支援にとどまらず、より深度ある支援を実践できるよう態勢整備に努めていくことが必要であると考えております。

当金庫では営業活動上の指針として「しんきんのココロエ」を施行し、その一部に、「自分のことのようにお客さまのことを知ろう」、「お客さまにとって何が最良なのかを深く考えて行動しよう」を掲げ営業活動を行っております。

「Shinking 2030 セカンド」で掲げる重点事項に取り組むことにより、「しんきんのココロエ」に基づいた営業活動の質をさらに高め、地域金融機関である信用金庫としての役割を果たしてまいります。

2025年度も先行き不透明な状況が続くものと予想されますが、地域の皆さまのご期待にお応えできるよう、最も身近な「ファーストアドバイザー」を目指して役職員一同全力を尽くしてまいりますので、今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年7月

理事長 森山 博志

目 次

経営理念	P2	組織図・役員一覧	P28
業績のご報告	P4	安心と信頼 総合力のしんきんバンク	P29
ちょうしんきんSDGs宣言	P6	手数料のご案内	P30
営業のご案内	P14	ATMお取扱いのご案内	P31
お客さま保護管理態勢	P20	店舗のご案内	P32
内部管理態勢・リスク管理態勢	P22	あゆみ	P34
法令等遵守態勢	P24	開示項目索引	P35
総代会制度	P26		

本誌は信用金庫法第89条で準用する銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。



- 当金庫の概要(2025年3月末現在)
- 創 業 — 1910年(明治43年)7月
- 出 資 金 — 9,870百万円
- 会 員 数 — 30,285名
- 本 店 — 千葉県銚子市双葉町5番地の5
- 店 舗 数 — 28店舗(千葉県内24店・茨城県内4店)
- 役 職 員 数 — 385名
- 預 金 — 5,175億円
- 貸 出 金 — 1,672億円
- 自己資本比率 — 12.57%
- 業 務 地 区 — ●千葉県内
銚子市、旭市、匝瑳市、茂原市、勝浦市、千葉市、東金市、成田市、市原市、香取市、習志野市、八千代市、船橋市、木更津市、市川市、袖ヶ浦市、白井市、四街道市、佐倉市、八街市、鴨川市、印西市、富里市、いすみ市、山武市、大網白里市、山武郡、長生郡、夷隅郡、香取郡、印旛郡
- 茨城県内
神栖市、鹿嶋市、潮来市、行方市、鉾田市